

Futaba Model Data Converter

モデルデータコンバータ使用方法

モデルデータコンバータはフォーマットの異なる送信機のモデルデータを迅速に各送信機のフォーマットに変換する為のソフトウェアツールです。

モデルデータコンバータを使用すると、T14MZ と T12FG のようにフォーマットが異なる送信機間でもデータを流用できるようになります。

注意

モデルデータコンバータを使用する前に、送信機のソフトウェアを最新版にアップデートして下さい。

もし古いバージョンの送信機をお使いの場合は、弊社ホームページ(www.futaba.co.jp) から最新版ソフトをダウンロードして、送信機をアップデートする必要があります。

古いバージョンの送信機で使用していたモデルデータを変換する場合は、最新版にアップデートされた送信機で一度選択(モデルセレクト)してモデルデータを保存(電源断)して下さい。その後、モデルデータコンバータで変換して下さい。

モデルデータコンバータは以下の送信機バージョンのモデルデータに対応しています。

送信機	エディタ	エンコーダ
T14MZ/FX-40	Ver.1.3.2 以降	Ver.1.41 以降
T12Z	Ver.1.3.2 以降	Ver.1.39 以降
T12FG/FX-30 ※	Ver.1.6 以降	

※ FX-30 は海外向けの製品です。モデルデータコンバータは海外向けと共通のため、FX-30 にも対応しています。

重要:フライト前には十分な動作確認を行って下さい。

1.準備

1-1.変換元のモデルデータが保存されているメモリーカードを PC に接続されたカードリーダーにセットします。

1-2.変換後のモデルデータを保存するメモリーカードを PC に接続されたカードリーダーにセットします。

※ 変換元と変換後のモデルが同じメモリーカードに対応している場合、変換元と同じメモリーカードに保存する事もできます。

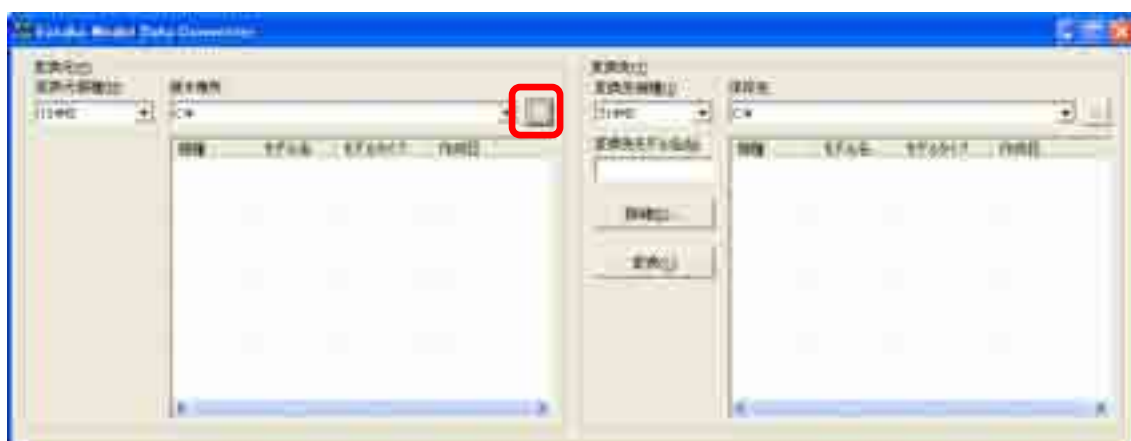
1-3.Model Data Converter を起動します。

2.変換元の指定

2-1."変換元"ブロックの"変換元機種"で変換元の送信機タイプを選択します。



2-2."変換元"ブロックのフォルダ参照ボタンをクリックします。



2-3.フォルダの参照ダイアログが表示されます。モデルデータが保存されているフォルダを指定して”OK”ボタンをクリックします。

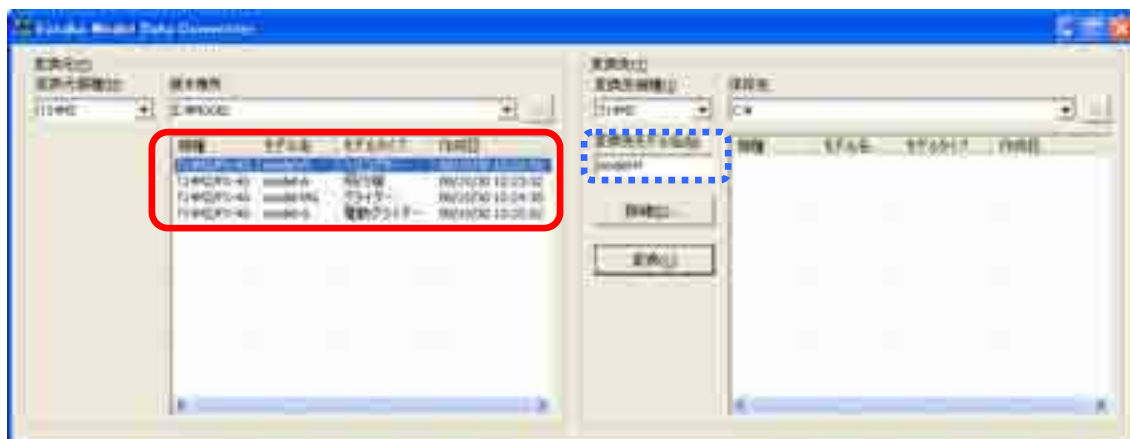


[参考]

T14MZ/FX40/T12Z の場合、CF カードドライブの”MODEL”フォルダ

T12FG/FX30 の場合、SD カードドライブ

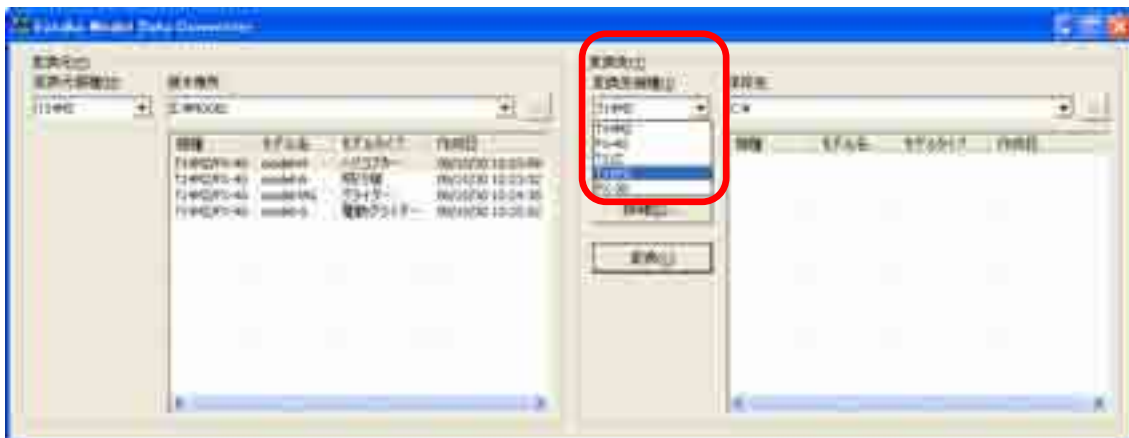
2-4.”変換元”ブロックの変換元データリストに保存されているモデルデータの一覧が表示されるので変換したいデータを選択します。



- ※ ”変換先モデル名”テキストボックスが空白だった場合、選択したモデルデータのモデル名が”変換先モデル名”テキストボックスへ自動的に入力されます。
- ※ ”変換先モデル名”テキストボックスが入力済の場合、変換元データリストのデータをダブルクリックすると”変換先モデル名”テキストボックスの名前が選択したモデルデータ名に変更されます。

3.変換先の指定

3-1.”変換先”ブロックの”変換先機種”で変換先の送信機タイプを選択します。

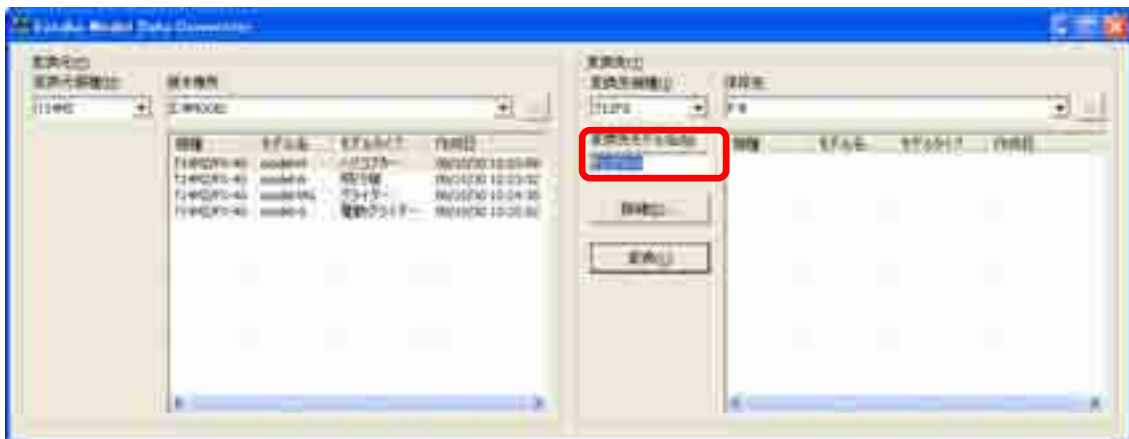


3-2.”変換先”ブロックのフォルダ参照ボタンを押します



3-3.フォルダの参照ダイアログが表示されます。変換したモデルデータを保存する場所を指定して”OK”ボタンをクリックします。

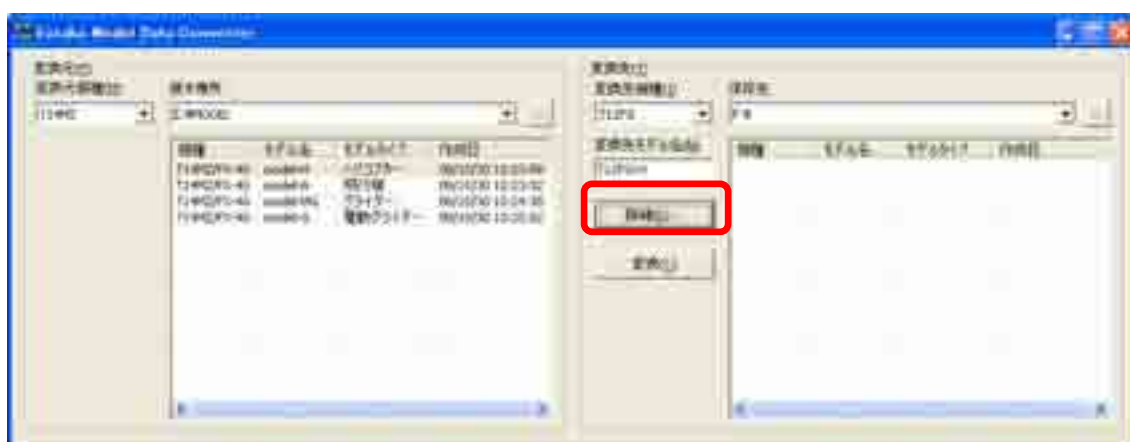
3-4.モデル名を変更する場合、”変換先モデル名”テキストボックスにモデル名を入力します。



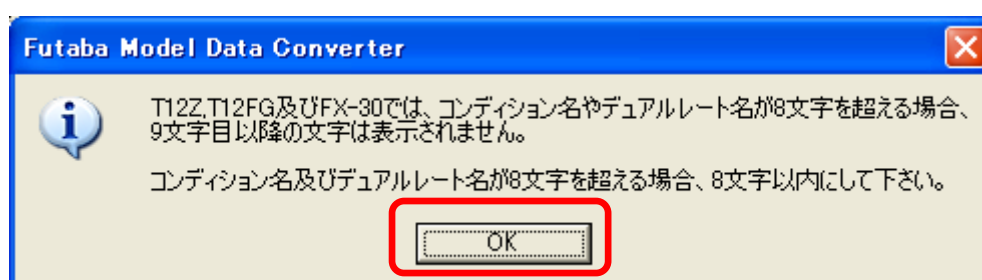
4.詳細設定

変換時にコンディション名、デュアルレート名、ハードウェア割り当ての設定変更を行うことができます。そのままの状態のコピーしたい場合は本項の設定は必要ありません。

4-1. ”詳細” ボタンをクリックします。



4-2. 変換先が T12Z/T12FG/FX30 の場合、確認ダイアログが表示されるので”OK”ボタンをクリックします。



4-3.”詳細”ダイアログが表示されます。詳細設定が完了したら、”OK”ボタンをクリックします。



・コンディション名の編集

- ※ 編集したいコンディションのテキストボックスに新しいコンディション名を入力して下さい。
- ※ "リセット"ボタンをクリックして、確認ダイアログで"はい"を選択すると変換元データのコンディション名で初期化されます。
- ※ "既定値にする"ボタンをクリックして、確認ダイアログで"はい"を選択すると 8 文字以内の省略名で初期化されます。例"CONDIT1"

・デュアルレート名の編集

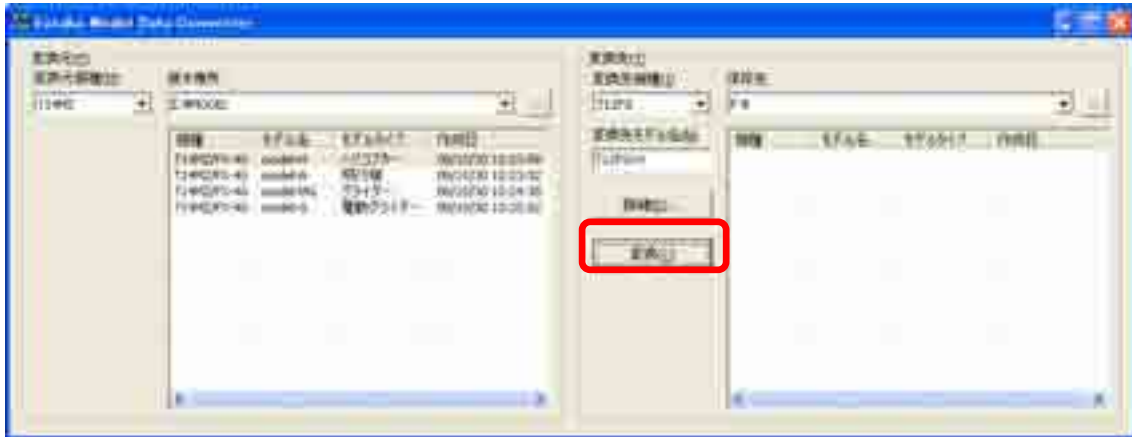
- ※ デュアルレート名はコンディション毎に編集できます。編集するコンディションは"コンディション"リストで選択します。
- ※ "リセット"ボタンをクリックして、確認ダイアログで"はい"を選択すると全てのコンディションの D/R 名が変換元データの D/R 名で初期化されます。
- ※ 変換先機種が T12FG/FX30 の時はデュアルレート名の編集は行えません。

・ハードウェアの置換機能

- ※ ハードウェアの設定を一括で置き換える機能です。例えば、変換元"RST"の変換先を"RS"に設定した場合、変換元モデルで"RST"に設定されている箇所が変換先モデルでは"RS"に設定されません。
- ※ 変換先機種に存在しないハードウェアの初期値は NULL になっています。
- ※ スイッチ動作ハードウェアとリニア動作ハードウェア間の置き換えはできません。
 - スイッチ動作…SW-A, SW-B, SW-C, SW-D, SW-E, SW-F, SW-G, SW-H, SS1(SI), SS2(SJ), CD-SW
 - リニア動作…LD, RD, LS, RS, LST, RST, CD, L1, L2, L3, J1, J2, J3, J4, T1, T1, T3, T4, T5, T6, T7, T8

5.データ変換

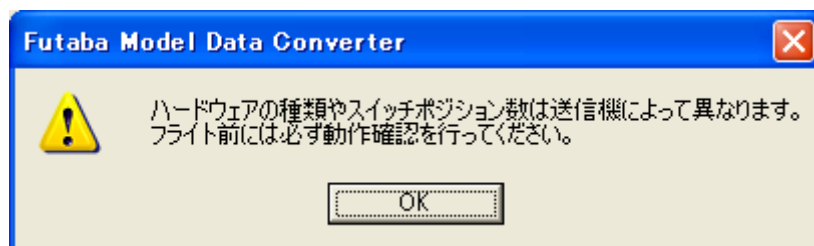
5-1."変換"ボタンをクリックします。



5-2.モデルデータ変換完了のダイアログが表示されますので、"OK"ボタンをクリックします。



5-3.フライト前の警告ダイアログが表示されますので、"OK"ボタンをクリックします。フライト前には十分な動作確認を行ってください。



6.制限事項

6-1.全般

- T14MZ と FX40 のモデルデータはリスト上には”T14MZ/FX40”と表示されます。

6-2.T14MZ/FX40/T12Z から T12FG/FX30 にコンバートする場合

- ハードウェア設定の Box/ヒステリシス設定はキャンセルされます。
- コンディション選択以外のロジックスイッチは NULL に設定されます。
- コンディション選択のロジックスイッチでも、ネストされたロジックスイッチは NULL に設定されます。
- カーブの設定でリニア/VTR/曲線はポイントカーブに変更されます。
- 各設定のコンビネーション設定は全てのコンディションでグループの時以外はシングルに設定されません。
- 存在しない機能(フューエルミクスチャ/マルチエンジン設定等)は初期化されて無効になります。

6-3. T12FG/FX30 から T14MZ/FX40/T12Z にコンバートする場合

- モデルタイプがグライダーでモータファンクションが使用されている場合、モデルタイプはモータグライダーへコンバートされます。

6-4.FX40 から FX30 にコンバートする場合

- SS1/SS2 は SI/SJ にコンバートされます。

6-5.FX30 から FX40 にコンバートする場合

- SI/SJ は SS1/SS2 にコンバートされます。

7.エラーメッセージ一覧

	
状態	モデルデータ保存先が無効
メッセージ	“変換元機種”形式のデータを”データ保存先”に保存することは出来ません。機種と保存先を確認してください。
解説	変換先モデルデータの保存先に問題があります。 T12FG/FX30 で使用する SD カードには特別なフォーマット(FFS フォーマット)が使用されている為、T14MZ/FX40/T12Z のモデルデータを保存することはできません。 また、T12FG/FX30 のデータを FFS フォーマットされた SD カード以外に保存する事もできません
対策	”変換先”ブロックの”変換先機種”と”保存先”を確認して下さい。 もし”変換先機種”が T12FG/FX30 ならば、FFS フォーマットがされた SD カードを”保存先”に指定して下さい。”変換先機種”が T14MZ/FX40/T12Z の場合は FFS フォーマットがされた SD カード以外を”保存先”に指定して下さい。

	
状態	変換元モデルデータの選択無し
メッセージ	変換元のデータが選択されていません。 変換元データリストからアイテムを選択してください。
解説	“変換元”ブロックの変換元データリストのモデルデータが存在しない、または選択されていません。
対策	“変換元”ブロックの変換元データリストにモデルデータが存在しない場合、”探す場所”にモデルデータが保存されているパスが設定されているか確認して下さい。 変換元データリストにモデルデータが存在する場合、データリストから変換元モデルデータをクリックして下さい。

	
状態	作成するモデル名の重複
メッセージ	“変換先ファイルパス”ファイルは既に存在します。 モデル名を変更してください。
解説	同じモデル名のモデルデータを作成しようとしています。 T14MZ/FX40/T12Z は保存先に既にあるモデルデータと同じモデル名のモデルデータを作成することはできません。
対策	重複しないモデル名を“変換先モデル名”テキストボックスに入力してください。 保存先のモデルデータのモデル名は”変換先”ブロックのデータリストで確認できます。

	
状態	変換元機種とデータのミスマッチ
メッセージ	変換元の機種タイプが正しくありません。 変換元機種と変換元データリストを確認して下さい。
解説	指定した変換元機種と変換元モデルデータの機種が異なります。
対策	“変換元”ブロックの”変換元機種”と変換元モデルデータの機種を合わせて下さい。 Note) 変換元モデルデータが T14MZ/FX40 となっている場合は、”変換元機種”を T14MZ と FX40 のどちらにも指定できます。


	
状態	モデルデータアクセス不可
メッセージ	“変換元ファイルパス”ファイルを開けませんでした。 探す場所を確認してください。
解説	選択した変換元モデルデータがありません。 変換元モデルデータを選択した後に、選択したデータが消去されたか、データが保存されたメモリーカードが認識されていない可能性があります。
対策	もう一度、変換元モデルデータの選択を行って下さい。


	
状態	保存ファイル名が不正
メッセージ	“変換先ファイルパス”ファイルを開けませんでした。 モデル名と保存先を確認してください。
解説	以下の原因が考えられます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル名に使用出来ない文字/記号が使われている。 2. 保存先に指定したフォルダが消去されている。 3. 保存先に指定したメモリーカードをパソコンが認識していない。
対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. モデル名を変更して下さい。 2. “3.変換先の指定”を参考に保存先フォルダの指定を再度行って下さい 3. メモリーカードが PC に認識されている事を確認し、保存先フォルダの指定を再度行って下さい。

	
状態	古い形式のモデルデータ
メッセージ	対応しないデータです このデータは古いバージョンの送信機で保存されています
解説	古いバージョンの送信機のモデルデータです。 アップデートによりモデルデータの構造が変わって互換性が無くなることもある為、モデルデータコンバータでは変換出来ない場合があります。
対策	送信機を最新のソフトウェアにアップデートして下さい。 アップデートした送信機で一度モデルデータを保存(電源断)した後、再度モデルデータコンバータをお試し下さい。

	
状態	モデルデータコンバータが古い
メッセージ	対応しないデータです 最新のデータコンバータを使用してください
解説	お使いのモデルデータコンバータに対応しないモデルデータです。
対策	最新のデータコンバータをお使い下さい。

	
状態	変換先モデル名未入力
メッセージ	変換先モデル名を入力してください。
解説	“変換先”ブロックの”変換先モデル名”テキストボックスに何も入力されていません。
対策	“変換先”ブロックの”変換先モデル名” テキストボックスに変換先モデルのモデル名を入力してください。

	
状態	モデル名の文字制限オーバー
メッセージ	変換先モデル名が 8 文字を超えています。 T12Z/T12FG/FX-30 のモデル名は、8 文字以内で編集して下さい。
解説	“変換先”ブロックの”変換先モデル名”テキストボックスに入力されたモデル名が文字制限を越えています。 T12Z/T12FG/FX-30 のモデル名の文字制限は 8 文字です。
対策	“変換先”ブロックの”変換先モデル名”テキストボックスに 8 文字以内のモデル名を入力して下さい。

	
状態	使用不可文字の使用
メッセージ	変換先モデル名に T12Z/T12FG/FX-30 では使用出来ない文字が使われています。モデル名を再編集して下さい。
解説	漢字や全角文字等、T12Z/T12FG/FX-30 では使用できない文字がモデル名に使用されています。
対策	<p>“変換先”ブロックの”変換先モデル名”テキストボックスのモデル名を使用できる文字で再編集してください。</p> <p>※ 使用できる文字は下記になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 半角英数字 ・ 半角カタカナ ・ 記号（ “ * / : < > ? ¥ は使用不可 ）